

# SCIENCE PLANTER

## Vol.24 「人類の移動、難民の移動」

人類は170万年前にアフリカを出て以来、世界で移動を続けています。現在、人類の移動の4分の1は難民であるといわれています。その中で最も新しい難民危機の一つに2017年に発生したミャンマーからのロヒンギャ難民があります。アウンサン・スーチーさんとの関連でも話題に上るこの難民危機について現状の一端をご紹介します。

日時: **2020.1.24 Fri.**  
**17:00-18:00**

場所: 芸術工学図書館1F AIVEA



講師

**谷 正和 先生**

(九州大学芸術工学研究院長)

私は約20年前からバングラデシュをフィールドにして環境問題と貧困の関係について調査研究をしてきました。8年前から、バングラデシュの東部、ミャンマーとの国境にあるテクナフ半島という所で、森林破壊の社会的メカニズムについて研究をしていました。そこへ、2017年8月から3か月間で現地の全人口の3倍にも及ぶロヒンギャ難民が押し寄せて来ました。今年の4月からはロヒンギャ難民による現地の自然と社会への影響を調査しています。

SCIENCE  
PLANTER

★お問合せ: 芸術工学図書館 情報サービス係  
TEL: 092-553-9490  
EMAIL: toshokan@design.kyushu-u.ac.jp

